

消費税増税で見せかけの「過去最高」

平成26年度予算案（前年比較）

	平成26年度	平成25年度	比較増減
一般会計	754億8000万円	737億8000万円	17億0000万円
特別会計			
公共用地取得	3億8115万円	3億6584万円	1530万円
後期高齢者医療	19億3700万円	18億8200万円	5500万円
国民健康保険	260億9600万円	253億4600万円	7億5000万円
介護保険	103億2600万円	96億5900万円	6億6700万円
公共下水道	58億6900万円	58億0700万円	6200万円
病院事業会計	176億1520万円	168億7301万円	7億4218万円
合計	1377億0435万円	1337億1286万円	39億9149万円

厚木市議会2月定例会が2月24日～3月20日まで開催されます。主に新年予算案を審議します。

平成26年度の厚木市の一般会計予算は754億8千万円で、平成25年度よりも17億円（2・3％）増えています。後期高齢、国保、介護、下水道、病院事業などの特別会計を入れた総額では1377億435万円。前年より39億9149万円（3％）の増額になっています。

【歳入】では、地方消費税交付

金は消費税増税による影響で4億2千万円（14・6％）増の33億円。国庫支出金では、消費税の増税対策である臨時福祉給付事業補助金（4億7500万円）・子育て世帯臨時特例給付事業補助金（2億5千万円）・経済対策などの財源として金額が増え、107億1710万円を計上しています。

【歳出】の主な事業として、アミュー

あつぎの維持管理・運営に3億5805万円。

待機児童ゼロ戦略と称して民間保育所や認定あつぎ保育所など保育関連予算に約11億円。しかし、子ども・子育て支援新制度を前に、保育環境の低下が懸念されます。

森の里東土地地区画整理事業に1億6693万円。企業誘致とはいえ、完成が10年も先では経済効果はいつになるのでしょうか。

小学校教室冷暖房設備設置は平成26年度～28年度で23校に設置します。26年度は6校が計画されています。中学校は25年度で完了。

予算規模では過去最高ですが、消費税増税による見せかけの規模にすぎません。消費税増税は厚木市が事業をするときにはしっかりと上乗せされます。市民にとってはまさに増税の痛みがもたらしかつてきます。消費税増税が市民の暮らしにどう影響するか、新年予算について福祉向上の観点でしっかり審議していきます。

平成26年度一般会計予算案 主な歳入

主な市税の項目	平成26年度	平成25年度	比較増減
個人市民税	143億6400万円	141億8300万円	1億8100万円
法人市民税	42億0400万円	42億6898万円	△6498万円
固定資産税	196億7300万円	193億5680万円	3億1620万円
市たばこ税	20億0100万円	20億3600万円	△3500万円
都市計画税	24億1200万円	24億0300万円	900万円
国庫支出金 14.2%	107億1701万円	102億3312万円	4億8389万円
市債 6.1	46億1440万円	44億9560万円	1億1880万円
県支出金 5.9	44億1127万円	35億3597万円	8億7530万円
地方消費税交付金 14.6	33億0000万円	28億8000万円	4億2000万円
繰越金 0.7	5億0000万円	5億0000万円	0

市税
429億4747万円
構成比
56.9%

主な市税内訳

今週の活動から

2月8日、14日と大雪でした。各所にまだ雪の山がたくさん。雪解け水が側溝から溢れています。（上：釘丸久子議員）



友好都市の横手市訪問が大雪の影響で1日延びました。2月16日夜のかまくら、17日梵天出陣式などを見学。横手市議会との交流が深まりました。（下：栗山香代子議員）

2月議会の予定

- 2月24日（月）議会運営委・本会議
- 2月25日（火）本会議
- 3月3日（月）本会議（一般質問）
- 3月4日（火）本会議（一般質問）
- 3月5日（水）本会議（一般質問）
- 3月7日（金）総務企画常任委員会
- 3月10日（月）市民福祉常任委員会
- 3月11日（火）環境教育常任委員会
- 3月12日（水）都市経済常任委員会
- 3月20日（木）議会運営委・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。